

第2回スポーツ医・科学拠点整備に向けた有識者懇談会 次第

日時：令和7年8月20日（水）午前9時30分～

場所：市役所西庁舎 12階 西12D会議室

1 開 会

2 議題

- | | |
|-----------------------------|-----|
| (1) スポーツ医・科学施設の主な機能について | 資料1 |
| (2) メディカル機能の望ましいあり方について | 資料2 |
| (3) スポーツ医・科学拠点となる施設の必要性について | 資料3 |
| (4) スポーツ医・科学施設の候補地の考え方について | 資料4 |

3 その他

4 閉 会

(参考資料)

- | | |
|-----|--------------------------------|
| 参考1 | 第1回スポーツ医・科学拠点整備に向けた有識者懇談会 議事概要 |
| 参考2 | 令和7年度 第2回 ネット・モニターアンケート結果(概要) |
| 参考3 | 他都市のスポーツ医・科学センターにおける主な取り組み |

本日ご議論いただきたい点について

○スポーツ医・科学施設の主な機能について

- ・健康増進や競技力向上等の取組みの目的、対象、課題等に
応じた適切な内容か
- ・中長期的な視点を踏まえた取り組みとなっているか

○メディカル機能の望ましいあり方について

- ・外来診療の有無や診療科、体制、利用者層
- ・スポーツクリニックをはじめとしたの医療機関等との連携

○スポーツ医・科学拠点となる施設の必要性について

- ・取り組み内容の専門性、必要な設備・機器、円滑な運営、
利用者の利便性を踏まえ、専用の施設が必要か

○スポーツ医・科学施設の候補地の考え方について

- ・拠点機能のポテンシャルを発揮し得る要件か
- ・スポーツの関連資源の効果的な活用が見込まれる要件か

スポーツ医・科学施設の主な機能について(素案)

1 安全・健康で継続的・効果的なスポーツの実施

子どもから高齢者、障害者まで誰もがスポーツ障害を予防しながら安全かつ健康的にスポーツを継続して楽しめるよう、スポーツ医・科学の幅広い知見を活かした支援を行います。また、競技特性だけでなく、子どもの発育など個々の状況に応じた効果的な支援を行います。

区 分	内 容	専門人材	諸 室
メディカル チェック	■メディカルチェック 尿、血液、胸部X線、呼吸機能、安静時心電図、運動負荷心電図、骨密度・骨量、食事調査、内科診察 等	内科医 臨床検査技師 放射線技師 測定員	測定室・更衣室 診察室・待合室 X線診療室・検査室
フィジカル・ フィットネス チェック	■形態・体組成検査 身長、体重、BMI、体組成(体脂肪率、筋肉量)、骨年齢 等 ■体力測定 筋力、瞬発力、筋持久力、敏捷性、柔軟性、全身持久力(最大酸素摂取量) 等	測定員	測定室・更衣室
運動・トレー ニング指導等	上記チェックを踏まえ、高齢者や子ども、障害者などの個々の身体の状態や運動目的、競技種別等に応じた運動・トレーニング方法等の指導・提案や、目的別教室の実施	トレーナー 運動指導士 栄養士	トレーニング室 運動室(多目的アリーナ)・更衣室
スポーツ施設連 携	市内のスポーツ施設等と連携し、測定結果を踏まえた効果的なトレーニング方法等の提供により、日常的なトレーニングの効果向上を図る	トレーナー 運動指導士	トレーニング室 運動室(多目的アリーナ)・更衣室
各種講習会・相 談会・イベント	■市民、指導者等に向けてスポーツ障害の予防や、栄養、心理などに関する講演会・相談会などを実施 ■出張体力測定や、トップスポーツチームと連携した運動教室など、スポーツ医・科学を身近に感じる取り組みを実施	医師、トレー ナー、運動指 導士、栄養士、 心理士	トレーニング室 ホール 研修室



スポーツ医・科学施設の主な機能について(素案)

2 競技力の向上

アスリート・パラアスリートが持っている能力を維持・向上させ、パフォーマンスを最大限に発揮できるよう、スポーツ医科学の専門的な知見を活かした支援を行います。また、次世代を担うジュニアアスリートの育成支援等を通じて、新たなアスリートが誕生する好循環をつくります。

区 分	内 容	専門人材	諸 室
アスリート体力測定	体力測定等を実施 (形態、身体組成、筋力、有酸素性能力等) ※HPSCネットワーク連携機関を目指す	測定員	測定室・更衣室
フィジカルトレーニングサポート	測定結果を踏まえ、フィードバックとトレーニングメニューの提案	トレーナー 運動指導士	運動室(多目的アリーナ)・更衣室 トレーニング室
メディカルチェック(スポーツ障害予防)	ジュニアアスリート等の身体の各部位を確認し、スポーツ障害の予防や早期発見を図る	整形外科医 検査技師 理学療法士	診察室 検査室
栄養サポート	スポーツにかかる栄養面について、講座や個別相談を実施(オンライン含む)	栄養士	ホール・会議室 相談室
心理サポート	スポーツにかかる心理サポートについて、講座や個別相談を実施(オンライン含む)	心理士	ホール・会議室 相談室
動作分析・映像サポート	映像等による動作分析により、競技特性に応じた動作の最適化のサポート等	映像分析スタッフ	動作分析室

対象に応じて複数のサポートをパッケージ化して提供

スポーツ医・科学施設の主な機能について(素案)

3 サポート人材の育成・確保

スポーツ医・科学による各種支援には、必要なスキルや知識を有した専門人材が必要不可欠であることから、人材育成に資する取り組みを進めるとともに、関係機関等と連携しサポート人材の安定的な確保を図ります。

区 分	内 容	専門人材	諸 室
指導者研修会・相談会・交流会	発育段階にあるジュニア世代を指導する指導者等を対象に、トレーニング方法、指導方法、栄養、心理、休養、熱中症対策等の研修会・相談会・交流会等を実施（オンライン形式含む）	トレーナー、運動指導士、栄養士、心理士 等	ホール 研修室 トレーニング室 運動室(多目的アリーナ)
サポート人材講習会・交流会	スポーツ医・科学に関係するサポート人材の講習会・交流会を実施し、知見の深化や連携の強化を図る	医師、理学療法士、トレーナー、栄養士、心理士 等	ホール 会議室
学生等への実践の場の提供	測定や指導などの各種サポートの場面で、スポーツ医・科学の専門人材を目指す学生等の研修やインターンを受け入れ、人材の育成を図る	医師、理学療法士、トレーナー、栄養士、心理士 等	各サポートで必要な諸室 会議室

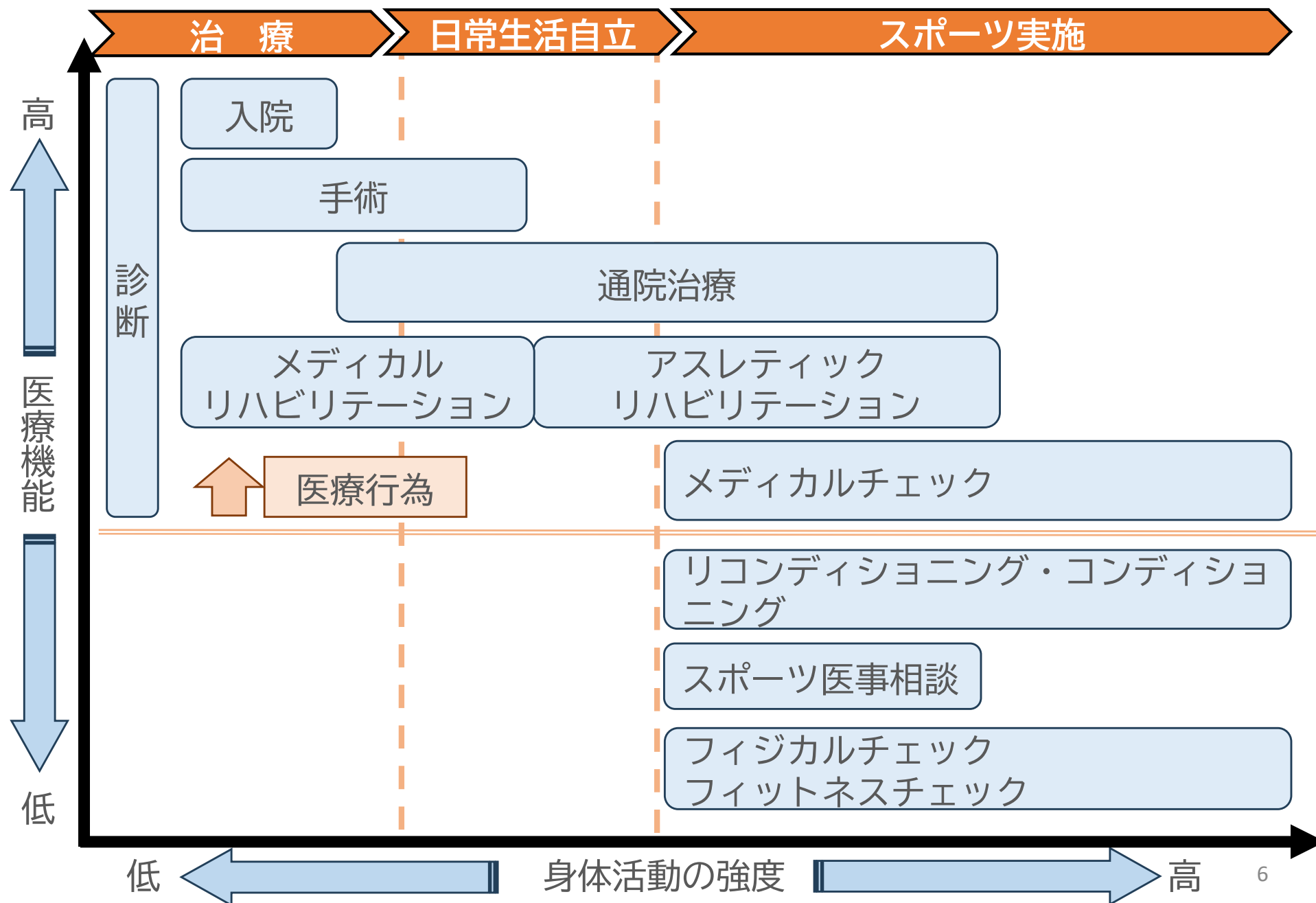
スポーツ医・科学施設の主な機能について(素案)

4 知見・データの活用・還元

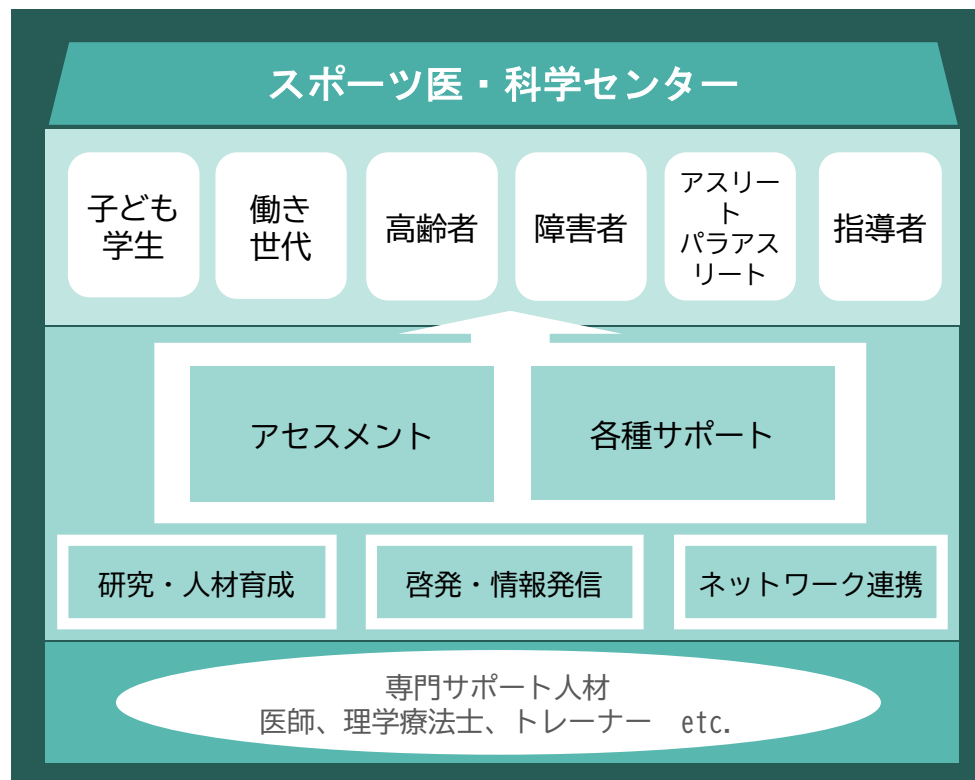
各種支援等を通じてスポーツ医・科学に関する知見やデータの蓄積が期待できるため、大学等と連携し研究に有効活用するとともに、更なる効果的な支援の提供を行うことで市民に還元できる仕組みをつくります。

区 分	内 容	諸 室
スポーツ医・科学研究の促進	■スポーツ医・科学支援で得られた知見やデータを活用し、大学等と連携して、健康増進、パフォーマンス向上に資する研究を行うとともに成果について発信 ■大学等の研究者間の情報交換、交流機会の創出	ホール 会議室 事務室
情報の収集及び発信	■H P S Cなどの最新の知見の収集や、他都市のスポーツ医・科学センターとの交流・知見の共有などによる情報収集 ■ウェブサイト、SNS、動画、パンフレット、チラシ等を通じて、スポーツ医・科学を活用した知識・情報を広く発信・啓発	施設内の諸室
産官学連携等による取り組みの普及	健康増進やパフォーマンス向上をテーマとし、企業や大学との連携等により、スポーツ医・科学を活用した取り組みの普及を図る	ホール 会議室

メディカル機能の望ましいあり方について(イメージ図)

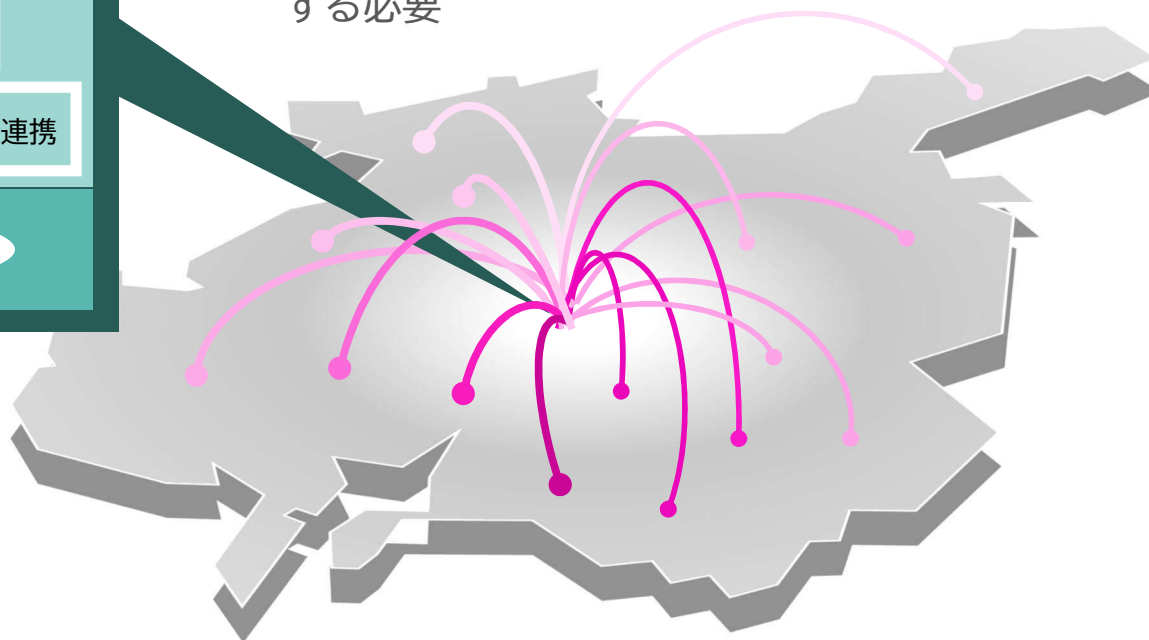


スポーツ医・科学拠点となる施設の必要性について(素案)



施設の必要性

- スポーツ医・科学の専門機器や設備を用い、各種サポート人材による高い専門性を発揮できる環境整備が必要
- メディカルチェック、体力測定、運動・トレーニング指導等のサポート、講習・研修会、研究等を継続的に実施する専用の諸室が必要
- チーム単位の受入れ、健康情報の保護、専用動線の確保など、利用者の安心・安全や利便性を重視する必要



【取り組みに必要な主な諸室等】

- ・測定室（メディカル・フィットネスチェック別）
- ・診察室、待合室、更衣室、検査室、X線撮影室
- ・トレーニング室、運動室（多目的アリーナ）
- ・動作分析室、相談室
- ・ホール、研修室、会議室、事務室
- ・駐車場

スポーツ医・科学センターと市内にあるスポーツ施設等が有機的に連携し、生涯を通じた運動・スポーツをサポート（図はイメージ）

スポーツ医・科学施設の候補地の考え方について(素案)

資料4

要 件	説 明
① 拠点機能を発揮するための十分な敷地面積がある	スポーツ医・科学施設として必要な機能、想定利用者数、駐車場、バリアフリー等を考慮した一定の敷地面積が必要
② 公共交通機関のアクセスを活かすことができる	市内に唯一のスポーツ医・科学施設として、利用者が地下鉄、市バス等の公共交通機関でアクセスができるなど、一定の利便性が必要
③ 周辺スポーツ施設との連携・活用を見込むことができる	運動場・アリーナ・体育館・競技場・公園などの運動やスポーツ実施に関連した施設・フィールドと近接していれば、スポーツ医・科学施設と連携したサポートや取り組みの充実を図ることが可能 (取り組み例) ・測定結果を踏まえたトレーニングの実演・デモンストレーション ・指導者へのトレーニング指導、研修、講習会の実施 ・センターと連携したイベントの開催 ・フィールド測定や映像サポート等 など
④ サポート人材・機関との円滑な連携・調整が期待できる	スポーツ医・科学施設での取り組みの専門性や多様なサポート人材を考慮すると、関係機関へのアクセス・連携が容易であることが望ましい